

菊池夏樹

菊池寛直孫・菊池寛記念館名誉館長

1946年、東京都生まれ。父は菊池英樹（菊池寛の長男）。立教大学法学部卒業後、69年、文藝春秋入社。池波正太郎の『鬼平犯科帳』シリーズをはじめ、井上ひさし、松本清張、渡辺淳一ら100名近くの作家・漫画家を担当。現在、菊池寛記念館名誉館長、日本文藝家協会会員、日本ペンクラブ会員。主な著書に『遺品逸品一偉人たちのとっておきの話』『菊池寛急逝の夜』『菊池寛と大映』『菊池寛のあそび心』など。

菊池寛

1888-1948

香川県高松市生まれ。代表作の一つ「父帰る」をはじめ、「真珠夫人」「恩讐の彼方に」「忠直興行記」「藤十郎の恋」など著作は多数あり、今なお読み継がれている。また『文藝春秋』を創刊、芥川賞・直木賞・菊池寛賞を創設、作家の地位向上に尽力するなど、現在の文壇の隆盛の礎を築いた。

- 1888 12月26日、香川県香川郡高松7番丁（現高松市天神前）に父武脩、母カツの4男として生まれる。
- 1895 四番丁尋常小学校入学。（旧四番丁小学校）
- 1903 県立高松中学入学。（現県立高松高等学校）
- 1906 『讃岐学生会雑誌』の懸賞作文で2等。成績首席。
- 1907 『日本新聞』課題作文に入選。初めて上京。
- 1908 推薦で東京高等師範学校入学。翌年除籍。
- 1910 第一高等学校文科に入学。
- 1913 友人の窃盗事件に巻き込まれ卒業目前に退学。京都帝国大学英文科に入学。「禁断の木の实」が『万朝報』の懸賞に当選。将棋を習う。
- 1914 第3次『新思潮』に参加。草田杜太郎の筆名で戯曲「玉村吉弥の死」等発表。
- 1916 第4次『新思潮』創刊。戯曲「屋上の狂人」等発表。京大卒業。時事新報社入社、社会部の記者となる。
- 1917 同郷の奥村包子と結婚。戯曲「父帰る」等発表。
- 1918 「無名作家の日記」「忠直卿行状記」等発表。文壇での地位を確立する。
- 1919 時事新報社を退き、大阪毎日新聞社の客員となる。
- 1920 新聞小説「真珠夫人」で成功。
- 1923 文藝春秋社を設立。雑誌『文藝春秋』創刊。
- 1926 文藝家協会を組織。報知新聞社の客員となる。
- 1927 誌上座談会を創出。芥川龍之介没。
- 1929 『菊池寛全集』全12巻を平凡社より刊行。
- 1934 大阪毎日・東京日日新聞社の顧問。直木三十五没。
- 1935 芥川賞・直木賞を創設。
- 1937 東京市議員に当選。芸術院会員となる。
- 1938 「日本文学振興会」を設立。初代理事長となる。
- 1939 菊池寛賞を設定する。大日本著作権保護同盟会長。
- 1947 公職追放の指令。将棋などをして閑暇を過ごす。
- 1948 3月6日、狭心症で急逝。絶筆は『富士』に書いた「無題」の5枚。

